

安 あど小通信



令和2年度教育目標

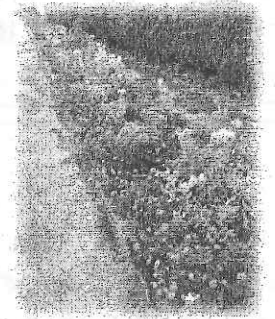
じょうぶで
がんばる
やさしい子



高島市立安曇小学校

令和2年(2020年)8月28日発行8月号 文責 中村 久昭

子どもたちにとって、僅か16日間の夏休みを終え、8月17日(月)から2学期がスタートしました。先週は午前中授業でしたが、猛暑となり子どもたちの登下校を心配していましたが、保護者の皆さまにはお迎えに来ていただいたり、途中で待っていただいていたりと、午前中授業にご協力いただき、ありがとうございました。また、スクールガードの皆さまにも大変お世話になり、感謝申し上げます。中には、日傘・雨傘をさして登下校する姿もちらほら見かけました。今週からお弁当持ちの通常日課となりました。まだまだ先の見えないコロナ禍です。感染症対策、熱中症予防、子どもたちのメンタル面にも配慮しながら、2学期を運営してまいりますので、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



花壇の花が咲きそろいました

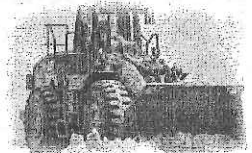
2学期始業式「大きな心」で

8月17日(月)の2学期始業式も放送により実施しました。その中で、前回お知らせをしました児童会のテーマ「楽しむ」を取り上げて、子どもたちに話をしました。コロナ禍の中、我慢を強いられストレスの溜まる毎日ですが、一部の人だけが楽しむのではなく、安曇っ子全員が楽しむためには、どのようにすればよいのかを問いました。自分の思い通りにならないと機嫌を損ねたり、すねたりするという幼い行動をよく見かけます。自分だけのことでなく、少しみんなのことや全体のことを考えることができるようになれば素晴らしい。そのためには、「大きな心」をキーワードとして、2学期は取り組んでほしい。そんな気持ちをみんながもてば、安曇小学校はもっともっと素晴らしい学校、居心地のよい学校になるはずだと伝えました。

環境整備作業お世話になりました

8月7日(土)に、PTA環境整備作業を実施しました。早朝よりたくさんの保護者の方にお世話になり、校外が大変きれいになり、2学期を素晴らしい環境でスタートできました。例年ですと6年生児童も参加するのですが、今年度はコロナ対策、熱中症対策のため保護者の方のみの参加となりました。

また、今年度は滋賀県建設業協会高島支部の方々によって、重機を使っただけの無償整備も同時に行っていただきました。次代を担う児童の健全な成長を願って、地域社会への貢献活動として取り組んでおられます。残念ながら児童はその場で、作業される方々の姿を見ることはできませんでしたが、委員長さんからは、将来建設業に少しでも興味をもってもらえたらとの挨拶がありました。このことは滋賀県産業新聞でも取り上げられました。



安曇っ子大運動会について

9月12日(土)に、8時50分から11時50分の半日で秋季大運動会を開催いたします。今年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながらの運動会となります。保護者の方には通知文でお願いをしていますが、地域の方におかれましても、ご観覧される場合は当日朝に検温をしていただき、発熱や風邪等の症状のある場合は、ご遠慮くださるようお願いいたします。また、今年度は児童が密にならないためにテントを増設することから、地区テント、敬老席テントは準備いたしませんので、ご観覧される場合は、申し訳ありませんが、各自で熱中症等の対策、マスクの着用をお願いします。12日(土)に実施できない場合は、13日(日)に順延いたします。12日、13日も実施できない場合は、14日(月)に実施いたします。例年のような密の状態を極力避けたいと考えていますので、ご協力よろしくお願いいたします。

今年度の修学旅行の中止について

先日、高島市教育委員会より、今年度の市内小中学校の修学旅行は、中止するという通知文書が出されました。事前に市内小中校長会と協議を重ねて中止の決定がなされました。

6年生にとっては小学校の思い出づくりの一つとして楽しみにしていた修学旅行ですので、何とか新型コロナウイルス感染症対策を万全にして例年通り広島への修学旅行を実施したいと思っていました。しかしながら、ここ数日の日本全国の状態を鑑みて、児童ならびに家族の命と健康を守ることを最優先に考えると仕方のない判断です。

つきましては、今後代替措置として、日帰りでの6年生の校外学習について、検討を重ねたいと思っています。

ご参考までに 教育相談・課題対応室 若松洋臣カウンセラーより

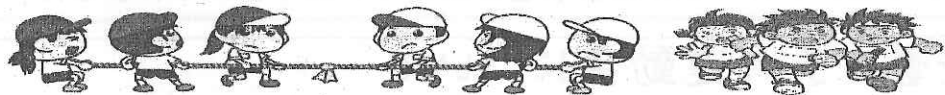
いつもの家族団らん・いつもの学校・いつもの友達・いつもの遊び場、などなど。私たちには幾つもの「いつもの」が変わらずにあることで、安定した日常生活を送ることができます。特に子どもにとって、この変わらない「いつもの」感じは安心感を形成し、この感覚は子どもの成長にもかかわるものです。この「いつもの」感じが、今年は大きく変わってしまいました。誰もが見通しをもてず、先の見えない(今までに経験したことのない)不安を抱えています。子どもも大人も、理由なくイライラしていること、疲れること、落ち着かないことなど、「いつものように」できないことが、それぞれにあったのではないのでしょうか?それほど今年は、ストレスのかかるスタートでしたし、2学期も不安を抱えながらのスタートになると思います。また、発達障がいの特徴をお持ちの方にとって、この見通しのもてない日々はより一層不安を強く感じる状況だと思えます。

今後、「学校に行きたくない」と唐突に言い出す子どもが現れるかもしれません。子どもが学校へ行きたくないと言いつつ、大人は「いつものように」学校に行かせたくなるものです。「学校に行きたくない」=「いつものようにはできない」という子どもの訴えは、周囲を不安にさせ困らせる、とても厄介なもののように映ります。しかし、子どもはそのような訴えを通して、子ども本人も意識できていない不安感やストレスの存在を周囲に知らせて、なんとかしようとしているのです。そうやってはじめて、親や教員が子どもの抱えるものに気づくことができる「きっかけ」になるのです。

もし、子どもが「学校に行きたくない」など周囲を悩ませることを言い出したら、その子はいつもとは違う今の状況に戸惑い、違和感やいつも通りにはできない不安な気持ちを感じているかもしれません。そのときは、声をかけ「行きたくない」という気持ちを理解しようと、丁寧に話を聞いてあげてください。周囲の大人が「自分でもなんだかよくわからないけど、どうしても学校に行きたくないんだな」と理解してくれようとするので、子どもは「自分のことを思ってくれる人がいる」と思えます。すると、自分でできなかったことに少しずつ向かっていく気持ちが動き始めます。周囲の理解が「いつもの」学校生活に向かえない子どもの不安に寄り添う支えになるのです。「学校に行きなさい」「来てほしい」と伝えるのではなく、大人も一緒に立ち止まって、子どもの話に耳を傾けてください。

市教育相談・課題対応室「つなぎ」通信第3号より

9月の主な予定



日	曜	9月主な行事	日	曜	9月主な行事
1	火	PTA 広報委員会 19:30~	14	月	振替休業日
9	水	運動会予行会	15	火	PTA 広報委員会 19:30~
10	木	学年費口座引落	18	金	3年校外学習(琵琶湖博物館)
11	金	運動会前日準備 1~5年 13:10 下校 6年 14:15 下校	23	水	4年やまのこ事前学習
12	土	安曇っ子大運動会 2020 8:50~11:50 12:10 集団下校	28	月	委員会活動 市P会長・母親代表交流会
			30	水	ミニ集会